

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 27 年 10 月 8 日 (2015.10.8)

【公開番号】特開 2014-65996 (P2014-65996A)

【公開日】平成 26 年 4 月 17 日 (2014.4.17)

【年通号数】公開・登録公報 2014-019

【出願番号】特願 2012-213984 (P2012-213984)

【国際特許分類】

D 0 6 M 15/55 (2006.01)

D 0 6 M 15/693 (2006.01)

D 0 6 M 13/156 (2006.01)

D 0 6 M 15/41 (2006.01)

D 0 6 M 15/00 (2006.01)

D 0 6 M 101/32 (2006.01)

【 F I 】

D 0 6 M 15/55

D 0 6 M 15/693

D 0 6 M 13/156

D 0 6 M 15/41

D 0 6 M 15/72

D 0 6 M 101:32

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 8 月 20 日 (2015.8.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリエステル繊維が、少なくとも (A) ポリエポキシド化合物、(B) ゴムラテックス、(C) クロロ変性レゾルシンの 3 種を含む第 1 処理剤によって被覆され、さらにその外層としてレゾルシン・ホルマリン・ゴムラテックス (RFL) を含む第 2 処理剤によって被覆されてなるゴム補強用ポリエステル繊維コードであって、かつ、第 1 処理剤に含まれる (C) クロロ変性レゾルシンが、第 1 処理剤の固形分 100 重量%に対して、0.2 ~ 10 重量%であることを特徴とするゴム補強用ポリエステル繊維コード。

【請求項 2】

前記第 1 処理剤に含まれる (B) ゴムラテックスが、第 1 処理剤の固形分 100 重量%に対して 30 ~ 70 重量%であることを特徴とする請求項 1 に記載のゴム補強用ポリエステル繊維コード。

【請求項 3】

前記第 1 処理剤に含まれる (C) クロロ変性レゾルシンが、第 1 処理剤の固形分 100 重量%に対して 0.5 ~ 5 重量%であることを特徴とする請求項 1 ~ 2 のいずれかに記載のゴム補強用ポリエステル繊維コード。

【請求項 4】

前記第 1 処理剤に含まれる (A) ポリエポキシド化合物が、第 1 処理剤の固形分 100 重量%に対して 30 ~ 70 重量%であることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のゴム補強用ポリエステル繊維コード。

【請求項 5】

前記第 1 処理剤に含まれるゴムラテックスが、1 種以上のゴムラテックスが混合されるものであり、ゴムラテックスの全固形分 100 重量%に対して、スチレンーブタジエンゴムラテックスが 50～100 重量%含まれることを特徴とする請求項 1～4 のいずれかに記載のゴム補強用ポリエステル繊維コード。

【請求項 6】

前記第 1 処理剤に含まれる (A) ポリエポキシド化合物、(B) ゴムラテックス、(C) クロロ変性レゾルシンの 3 種の合計が、第 1 処理剤の固形分 100 重量%に対して 85～100 重量%であることを特徴とする請求項 1～5 のいずれかに記載のゴム補強用ポリエステル繊維コード。

【請求項 7】

請求項 1～6 のいずれかに記載のゴム補強用ポリエステル繊維コードにより補強されたホース。